

# 2/27 農業就職・転職LIVE

## セミナースケジュール

11:00~11:30

### 農業初心者講座 ～本日のフェアを有効に活用するために～

農業法人に就職希望の方向けに、そのポイントと留意点をお伝えします。また、農業を仕事にするための就農方法や農業法人に就職後農業経営者になるにはどんなことが必要なのか、そのポイントと留意点をわかりやすく解説します。農業を仕事にと考えている人がすぐに次の一歩を踏み出すためのセミナーです。



深瀬 貴範 氏

#### 【PROFILE】

1985年株式会社リクルートフロムエー(現リクルートジョブズ)入社。営業・人事(新卒採用・労務管理)・人材斡旋部門でIT業界のキャリアアドバイザーを経て2013年より農林水産省と農業人材の確保について取り組む。

12:00~12:30

### 農業法人の経営者が語る ～農業法人の求める人物像～

神奈川県から栃木県に移住し、新規就農から法人を立ち上げた土屋氏が、経験に基づきお話しします。実際にひじや農園で使用している業務内容チェックリストを見ながら、ひじや農園のキャリアパスを紹介し、農業法人で働くにあたって必要な知識、能力の一例をお伝えします。自営就農と法人への雇用就農それぞれの良い点、難しい点について実体験を交えながら解説します。



(株)ひじや農園 代表取締役社長 土屋 喬平 氏

【PROFILE】都内の出版関連の会社で勤務の後、新規就農で農業の分野に飛び込む。2009年に妻と神奈川県から栃木県小山市に移住し、ひじや農園を立ち上げ、当初の3年は夫婦2人で経営、就農4年目にパート従業員を雇用し経営規模を拡大。現在、正社員4名、パート従業員4名、役員2名の10名体制で、レタス、とうもろこし、キャベツを生産。経営面積は、今年度15haを予定。2021年1月に法人化。経営理念に「次代を担う農業の創造」を掲げ、地域に根ざした「温故知新」的な経営で生産からマネジメントまで幅広く自らの目指す農業を構築中。令和元年度栃木県土地利用型園芸コンクール大賞受賞。

13:00~13:30

### 農業法人で働く中で得られる「知識・技術・ネットワーク」

農業を始めるうえでとても重要な「知識」「技術」の習得。農業法人に就職するとどんな知識やどんな技術がどのくらいの期間で身につくか、また、地域の方とのネットワークや農業仲間とのつながりなど、実際に農業生産にかかわり露地野菜を担当する三浦さんが、農業法人で働く魅力・やりがい・農業法人で実現できる生活から転職の際意を付けた方がよい点などご自身の経験からお話します。



(株)しゅん・あぐり 露地野菜担当 三浦 透 氏

【PROFILE】大学卒業後、食品スーパーに就職、青果部門に所属し、約2年間、店舗での野菜・果物の販売業務を経験。日本農業実践学園専修科に入学。露地野菜部門で1年間、学園の寮に住み込み、早朝から夕方まで露地野菜の栽培技術を学ぶ。在学期間に、運転免許のAT限定を解除、大型特殊免許、フォークリフトの免許を取得。卒業後は、茨城県の干し芋製造の農業法人に就職し、さつまいもの栽培から干し芋加工の作業を約1年間経験。2019年しゅん・あぐりに入社。現在、野田農場3haでの露地野菜の栽培計画から栽培管理を担当。栽培品目は主にキャベツ、ブロッコリー、人参、さつまいも。

14:00~14:30

### 農業を実際に体験してみませんか? ～受入農業法人が語る農業インターンシップとは?～

農業にもインターンシップがあり、1泊2日から1週間の期間で実際に農業法人に行き農業を体験できます。季節によって体験できる内容は様々ですが、実際に土を感じ作物を手にする事で自分の感覚で農業を理解できたり、実際に農家さんと交流する事でリアルな農業を感じることが出来ます。実際にインターンシップ生を受け入れている農業法人さんがインターンシップで体験できることをお話しします。



(有)アクト農場 取締役 岡 崇宏 氏

【PROFILE】1981年生まれ。高校卒業後、実家を継ぐつもりもなく、東京のプラスチック製品メーカーに就職。その後、実家の農業が面白く見え、4年間の東京生活を捨てて父が法人化した(有)アクト農場へ入ることを決意し、その前に修行の為に宮崎県の農業法人で1年間研修。その後、茨城に戻り農業現場にどっぷりつかり、パイプハウスの規模拡大及び太陽光利用型種物工場でトマトを生産。更に現場作業だけでは見えないものがあると思い、取引先である大手青果業者に3年間の期間付き移籍。2018年より(有)アクト農場にて勤務。

15:00~15:30

### 農業を始めるうえで農業の技術はどうするの? ～現役農家が教える「農業研修とは」～

農業を始めるうえで必要なのは「土地」「資金」そして何より大切なのは「農業技術」です。農業技術を習得するには①学校に行く②農業法人に就職する③研修生として農家でお仕事をしながら技術を習得する方法があります。今回は実際に研修生の受け入れ実績豊富な現役農家さんが、「研修ではどんなことが身につくか」「1日のスケジュールは」「どんな心構えで臨むか」「研修その後」についてわかりやすくお話しします。



アグリスマイル合同会社 代表 目黒 秀斗 氏

【PROFILE】旅行好きで日本全国を飛び回っているときに、荒れ果てたたくさんの耕作放棄地を目にしそのような土地で何かできないかと思い、高校2年の時に起業しました。安心安全な農作物を安定的に多くの人に食べてもらえるよう努力の日々。経営は、初期投資30万借金0円で経営、現在4期目で群馬県に2ヘクタール、トラクター2台を購入し堅実経営をしており、現在は神奈川県、群馬、千葉に畑をもち、安定化を目指すために日夜研究中。